

教員の活動報告

(2013年度)

以下は2013年度（2013年4月1日～2014年3月31日）における関西学院大学大学院経営戦略研究科の専任教員の活動記録を各教員の自己申告に基づいて作成したものである。

「活動報告」は以下のように分類される。氏名・職位，Ⅰ．著書・論文など，Ⅱ．研究発表など，Ⅲ．学位・表彰，Ⅳ．学外活動，Ⅴ．教育研究助成金，Ⅵ．その他。

経営戦略専攻

【羽室行信准教授】

Ⅰ．著書・論文など

(論文など)

- ・「テレビ番組視聴時における Twitter 投稿からのトピック検知」(共著), 『オペレーションズ・リサーチ』, Vol. 58, No. 8, pp. 442-448, 2013年8月
- ・「大規模ニュース記事からの極性付き評価表現の抽出と株価収益率の予測」(共著), 『オペレーションズ・リサーチ』 Vol. 58, No. 5, pp. 281-288, 2013年5月

Ⅱ．研究発表など

- ・「消費者マインドの概念化と分類モデルの生成」(共同発表), データ解析コンペティション, 2014年3月, 東京
- ・「Twitter を用いた中規模構造の解析によるマイクロクラスタリングの性能評価」(共同発表), 情報処理学会第146回アルゴリズム研究会, 2014年1月, 函館
- ・Detecting topics from Twitter posts during TV program viewing (共同発表), Proceedings of MoDAT (Designing the Market of Data) in conjunction with IEEE ICDM 2013年12月, Dallas
- ・「マイクロクラスタリングを用いた単語分類とトピック検知」(共同発表), 情報処理学会第145回アルゴリズム研究会, 2013年11月, 花巻
- ・「テレビ番組視聴時における twitter 投稿のバースト検知と情報配信の可能性」(共同発表), 2013年度人工知能学会全国大会 (第27回), 2013年6月, 富山
- ・「強化学習を用いた相場のブーム検知と株取引への適用」(共同発表), 2013年度人工知能学会 (第27回), 2013年6月富山

Ⅲ. 学位・表彰

- ・2012年度人工知能学会金融情報学研究会優秀論文賞，2013年10月12日
- ・2013年度データ解析コンペティション最優秀賞，2014年3月27日

Ⅳ. 学外活動

(学会役員，兼業，公職など)

- ・湊離散構造処理系プロジェクト研究推進委員，2010年4月～
- ・株式会社NYSOL代表取締役(兼業)，2012年8月～

Ⅴ. 教育研究助成金

- ・「選好構成理論の実証のためのシステム開発とショッピングサイトへの応用」，科学研究費補助金基盤研究(B)，2012年～2014年，125万円
- ・「大規模テキストデータを活用した投資家心理と株価変動の定量的解明」，科学研究費補助金基盤研究(B)，2013年～2015年，730万円
- ・「離散構造処理系のビジネスマイニングへの応用研究」，戦略的創造研究推進事業ERATO，2012年～2014年，900万円

【甲斐良隆教授】

I. 著書・論文など

(論文など)

- ・「ブランド商品における最適販売価格の設定」(単著)，『商学論究』(関西学院大学商学研究会)，第61巻第4号，pp. 103-118，2014年3月

【前田祐治准教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・『キャプティブと日本企業 リスクマネジメントの強化にむけて』(共著)，保険毎日新聞社，2013年10月

(論文など)

- ・“Creating Value with a Captive Insurer in Europe,”(単著)，*Kwansei Gakuin Social Sciences Review* Vol. 18, pp 101-118, 2014年2月
- ・「経営戦略型リスクマネジメントを通じた組織の存続」(共著)，『ビジネス&アカウンティングレビュー』(関西学院大学)第12号，pp. 35-53，2013年12月

II. 研究発表など

- ・“On Feasibility of a Risk Retention Group in Japan,”(共同発表)，The 17th Annual

Conference of Asia Pacific Risk and Insurance Association, 2013年7月, St. John's University, New York

- ・“Fuji Xerox and Corporate Social Responsibility,” (単独発表), ABEST 21 The Chiang Mai Conference, 2013年7月, Chiang Mai University, Thailand
- ・「リスクマネジメントの変遷と展開－経営戦略及び経営組織を中心に」(共同発表), 日本リスク学会, 第26回年次大会, 2013年11月, 中央大学
- ・“Sustainability of a Small Amount and Short Term Insurance Company,” (単独発表), 日本リスク学会, 第26回年次大会, 2013年11月, 中央大学

V. 教育研究助成金

- ・「日本企業のリスクファイナンスとキャプティブの研究」代表, 科学研究費補助金基盤研究 (C) 2012年～, 課題番号24530510, 494万円
- ・「リスクの時代における不動産課税の役割に関する経済・経営分析」分担, 科学研究費補助金基盤研究 (C) 2013年～, 課題番号25512010, 481万円

VI. その他

(海外での活動など)

- ・ American Risk and Insurance Association Annual Meeting, Washington D.C., USA, 2013年8月4日～7日
- ・ European Group of Risk and Insurance Economists, 40th Seminar, Paris, France 2013年9月16日～9月18日

【Norlia Ahmad 准教授】

II. Academic activities

- ・ “Exploring Customer Needs of High-Technology Product: A Preliminary Analysis of Perceived Needs and Kano Model.” (Single Author), 5th Asia-Pacific Business Research Conference, February 17-18, 2014, Kuala Lumpur, Malaysia

IV. Activities outside campus

(Other academic/educational/public position)

- ・ A member of Academy of Marketing, July 2012 ～
- ・ Asean Marketing Journal (AMJ) (Article Reviewer), January 2014

VI. Others

(Overseas Activities)

- ・ 16th Biennial World Marketing Congress, Academy of Marketing Science, Monash University, Melbourne, Australia, July 17-19, 2013

【小高久仁子准教授】

IV. 学外活動

(講演など)

- ・「創造的な解を導く戦略的意思決定のプロセス—組織のしくみとトップのリーダーシップ」, ステップアップ・セミナー2013 挑戦し続ける企業の成長戦略, 日本機械学会・関西支部, 2013年11月21日
- ・「トップの直観的判断を支える組織の戦略的意思決定プロセス」, 若手経営者セミナー, 神戸商工会議所・中小企業振興部振興チーム, 2013年9月19日

【岡田克彦教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・『ビッグ・データで株価を読む』(単著), 中央経済社, 2014年1月

(論文など)

- ・“Is No News Good News?: The Streaming News Effect on Investor Behavior surrounding Analyst Stock Revision Announcement,” (Co-author), *International Review of Finance* (Wiley), Vol. 14, pp. 29-51, March 2014
- ・“Investor Sentiment in News and the Calendar Anomaly,” (Co-author) SSRN Working Paper Series, <http://ssrn.com/abstract=2394008>, February 2014
- ・「世界の季節性アノマリーと投資家心理」(単著), 『商学論究』(関西学院大学) 第61巻4号, pp. 96-105, 2014年3月
- ・「株価変動の季節性と投資家心理」(共著), 『証券アナリストジャーナル』(証券アナリスト協会) Vol. 51, No. 12, pp. 96-105, 2013年12月
- ・「言葉に見る株価収益率の予測可能性について」(共著), 『ビジネスアンドアカウンティングレビュー』(関西学院大学) 第12号, pp. 117-130, 2013年12月
- ・“The Calendar Structure of the Japanese Stock Market: The Sell in May effect versus the Dekansho-bushi effect,” (Co-author) *International Review of Finance* (Wiley), Vol. 13, pp. 161-185, June 2013
- ・“Can Investor in the Stock Market Generate Profit from the Analysts? - An Empirical Analysis of Analysts' Signals Disseminated from the Bloomberg Terminal,” (Co-author) SSRN Working Paper Series, <http://ssrn.com/abstract=2275901>, June 2013
- ・「大規模ニュース記事からの極性付き評価表現の抽出と株価収益率の予測」(共著), 『オペレーションズ・リサーチ：経営の科学』(オペレーションズ・リサーチ学会) Vol. 58,

No. 5, pp. 281-288, 2013年 5 月

II. 研究発表など

- ・“Media Sentiment and the Post-Event Performance,” (単独発表), 第21回ファイナンス学会, 2013年 6 月 1 日, 武蔵大学
- ・“Can Investors Profit from the Analysts?” (単独発表), World Finance Conference, 2013年 7 月 1 日, Cyprus.
- ・“The Streaming News Effect on Investor Behavior surrounding Analysts’ Stock Revision Announcements,” (共同発表), International Review of Finance, 2013年 7 月 3 日, International Conference at Waseda University.
- ・“Stock Market Seasonality and Investor Sentiment: a text mining approach,” (共同発表), 第37回日本経営財務研究学会全国大会, 2013年10月, 兵庫県立大学
- ・“Sentiment, News and the Stock Market Return,” (単独発表), 大阪証券取引所寄附研究セミナーシリーズ第41回, 2013年12月, 大阪大学・金融保険教育研究センター
- ・「変化点検出と日本株式市場の季節性アノマリー」(共同発表), 第12回人口知能学会金融情報学研究会, 2014年 1 月, トムソン・ロイター

III. 学位・表彰

- ・優秀論文賞 人工知能学会金融情報学研究会, 2013年10月12日

IV. 学外活動

(受託・連携事業など)

- ・「ビッグ・データを用いた投資家心理の定量的解明」科学技術振興機構湊離散構造処理系プロジェクト 連携研究者, 2010年 4 月~2015年 3 月

(講演など)

- ・「人生に失敗する18の錯覚」, 永楽次世代交流会／三菱 UFJ 信託銀行法人企画部主催, 2013年 6 月17日
- ・“Seasonal Investor Overconfidence and the Stock Market Return,” 第7回行動経済学会／行動ファイナンス特別講演, 2013年12月14日
- ・「ビッグ・データと金融市場」, 日経ビッグ・データマネジメントフォーラム／日本経済新聞社主催, 2013年12月 5 日
- ・「ビッグ・データで株価を読み, 資産運用に活かす」, 機関投資家セミナー／みずほ証券主催, 2014年 2 月17日
- ・「マーケットは完全ではない, ロバート・シラー教授との対談」, 投資家セミナー／みずほ証券主催, 2014年 3 月12日

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・行動経済学会常任理事（学会役員），2011年12月～
- ・日本経営財務研究学会評議委員（学会役員），2013年10月～
- ・学術雑誌「Journal of Behavioral Economics and Finance」副編集長（学会役員），2012年12月～
- ・証券アナリスト試験委員（公職），2008年4月～
- ・大学基準協会専門職大学院認証評価委員（公職），2013年4月～
- ・株式会社 Magne-Max Capital Management 代表取締役（兼業），2011年7月～

V. 教育研究助成金

- ・「大規模テキストデータを活用した投資家心理と株価変動の定量的解明」，科学研究費補助金基盤研究（B），研究代表者，2013年4月～2016年3月，1352万円
- ・「株価変動とアノマリー 行動ファイナンスと合理的ファイナンスの融合にむけての研究」，科学研究費補助金基盤研究（B）研究分担者，2011年4月～2015年3月，1846万円
- ・「湊離散構造処理系プロジェクト」共同研究費，2011年4月～2016年3月，310万円

VI. その他

（海外での活動など）

- ・World Finance Conference 2013, Annual Meeting at Cyprus 2013年6月30日～2013年7月2日

【大内章子准教授】

I. 著書・論文など

（論文など）

- ・「企業は本気で女性を総合職として育ててきたか？—均等法世代と第二世代の追跡調査を基に—」（単著），『日本労務学会第43回全国大会研究報告論集』pp. 27-34，2013年7月

II. 研究発表など

- ・「企業は本気で女性を総合職として育ててきたか？—均等法世代と第二世代の追跡調査を基に—」（単独発表），日本労務学会第43回全国大会，2013年7月7日，大阪国際大学，「統一論題：シンポジウム2 『次世代のキャリア形成—キャリア概念の再検討—』」にて報告者&パネリスト

IV. 学外活動

（講演など）

- ・「キャリア・アンカー～働き続けるわたしの拠り所～」，定例会／よこの会，2013年5月

15日

- ・「一緒に考えよう。“仕事と子育ての両立！”」, パネルディスカッションコーディネータ, 関西学院大学ハッピーキャリアプログラム連続セミナー『自分らしく働き, 生きる』, 2013年7月6日
- ・「ダイバーシティ経営企業フォーラム」, パネルディスカッションファシリテータ, 経済産業省近畿経済産業局, 2013年7月12日
- ・「ワーク・ライフ・バランス」, 2013年度次世代リーダー育成プロジェクト「R3」/株式会社ニューエア, 2013年8月7日

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・大阪市男女共同参画審議会委員, 2007年9月~2013年7月
- ・放送大学 分担協力講師, 2010年度~, (放送授業「多様化時代の労働」第4-5回担当)

Ⅵ. その他

- ・「ハッピーキャリアプログラムー女性の仕事復帰・起業講座ー」(文部科学省社会人学び直しプログラム2008~2010年度の継続事業)企画担当, 2011年度~

【定藤繁樹教授】

Ⅳ. 学外活動

(受託・連携事業など)

- ・起業家精神涵養のための「若手経営幹部候補米国派遣プログラム」選考委員兼プロモーター, 関西経済連合会, 2013年4月~2014年3月
- ・宝塚市との包括協定に基づく産学官民連携事業, 2004年~
- ・大阪産業創造館(大阪市経済局)との協定に基づく連携事業, 2011年4月~
- ・地域活性化伝道師(内閣官房・大臣指名), 2005年4月~

(講演など)

- ・起業家精神涵養のための「若手経営幹部候補米国派遣プログラム」関西経済連合会, 2013年5月, 派遣者選考, 6月~7月, シリコンバレー等派遣者の事前研修3回, 9月~11月, シリコンバレー等派遣者の事後研修&報告会
- ・「後継者による事業革新」, 大同生命寄付講座, 2013年11月17日
- ・「事業承継による経営革新」, 一般社団法人地域企業振興協会, 2014年1月16日

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・都市創造研究センター長, 2006年9月~
- ・KGソーシャルイノベーション研究会 代表, 2009年4月~
- ・関西ベンチャー学会理事, 2006年3月~

- ・ 企業家研究フォーラム理事，2009年7月～
- ・ ペガサスマシン製造（株）監査役，2006年6月～
- ・ ニューブレクス（株）顧問，2008年～（共同創設者2002年）
- ・ （株）PIJIN 取締役，2012年7月～
- ・ （独）都市再生機構西日本支社 入札監視委員会委員，2008年9月～

【佐藤善信教授】

I. 著書・論文など

(論文など)

- ・ “Three Hurdles Japanese Retailers Face in Internationalization: A Case-Based Research of Uniqlo’s Internationalization Process,” (Co-author), Proceedings in the 11th SARD Workshop in Kaoshun, pp. 51-77, November 30-December 1, 2013

II. 研究発表など

- ・ 「営業とマーケティングの関係」(単独発表)，営業学研究会，大阪梅田キャンパス，2013年7月6日
- ・ 「日本企業の国際展開における課題：フランチャイズ・ビジネスを中心に」(単独発表)，経営問題108委員会，越後湯沢／高半，2013年8月30日
- ・ “Three Hurdles Japanese Retailers Face in Internationalization: A Case-Based Research of Uniqlo’s Internationalization Process,” (Co-author), the 11th SARD Workshop in Kaoshun, November 30, 2013

IV. 学外活動

(受託・連携事業など)

- ・ 「組織マネジメントの基本理論」，セカンドレベル研修／日本看護協会，2013年6月11日
- ・ 「くすのき塾，フォローアップ研修コメンテーター」，JA 兵庫中央，農業会館／三宮，2013年6月21日
- ・ 「経営戦略」，IBA 経営戦略講座，関西学院大学大阪梅田キャンパス，2013年6月13日（「幸楽苑：290円ラーメンへの挑戦（自作ケース）」），6月20日（「大創産業：市場の飽和化と革新へのチャレンジ（自作ケース）」），6月27日（旭山動物園：奇跡の復活劇「自作ケース」），7月4日（「富士フィルム：古森重隆の大改革（自作ケース）」）
- ・ 「経営組織管理論」，JA 近畿地区上級管理者事前研修会，天満研修センター，2013年7月11日
- ・ 「保健医療福祉サービスのマーケティング」，サードレベル研修／神戸看護協会，2013年8月13日

- ・「イノベーションの専門知識」, JA 京都・滋賀合同研修／ホテル洛西エミナース, 2013年8月23日
- ・「マーケティング・ケース分析」, 丸の内講座／ビジネス&アカウンティングコース, 関西学院大学東京丸の内キャンパス, 2013年9月7日 (「アキレスの瞬足のケース (自作ケース)」), 9月14日 (「富士フィルムのチェキのケース (自作ケース)」)
- ・「新・次世代の会, 講師兼コーディネーター兼ケース執筆の監修」(2013年9月以降, 勉強会当日は留学先からスカイプで参加), 公益財団法人・神戸ファッション協会, 2013年5月15日, 7月9日 (「ホテルキャッスルプラザ: 三代目の事業継承構想」), 9月9日 (「剣菱酒造: 酒造りへの徹底的なこだわり」), 11月11日 (「ポートフォリオ・アントレプレナー, 横山剛氏」), 2014年1月20日 (「植垣米菓: 伝統と革新のバランス」), 3月10日 (「株式会社かね徳: 革新の積み重ねが伝統になる」)

(講演など)

- ・「失敗事例から学ぶ! 会社が成長している時に経営者がおさえておきたいポイント」, ナレッジセミナー／大阪産業創造館, 2013年4月13日
- ・「ビジネスアイデアの発想法」, KGBPK 「ビジネスアイデアの考え方」セミナー／大学院1号館, 2013年4月17日
- ・「ビジネスにおけるエスノグラフィーの活用」, ビジネスランチアワー／関西学院大学大阪梅田キャンパス, 2013年5月21日
- ・「グローバル経済下での日本のビジネス人材の問題点」, AIE 国際高等学校, 2013年7月31日
- ・「混迷の時代の経営戦略: いまこそマネジメントの原点に戻る」, エースインテリアテューン協同組合／新大阪江坂東急インホテル, 2013年8月7日
- ・“Trends of Japanese Aging Population,” Guest Speaker for the Executive Education Program, Henry W. Bloch School of Management, UMKC, November 5, 2013.

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・日本マーケティング学会理事, 2012年8月2日～
- ・流通科学大学大学院流通科学研究科, 「サービス・マーケティング特論」(春学期), 「事例演習」(春学期) 担当, 2013年4月～
- ・関西大学大学院商学研究科, 「ケーススタディ」(春学期) 担当, 2013年4月～
- ・放送大学客員教授, 「ケースで学ぶ現代経営学」(テレビ放送), 「経営学入門」(ラジオ放送) 担当, 2011年4月～
- ・JA 大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山・滋賀各中央会, 上級職試験委員 (経営組織管理論), 2013年4月～

VI. その他

(海外での活動など)

- ・ Visiting Researcher of Henry W. Bloch School of Management, University of Missouri-Kansas City, from September 19, 2013～
- ・ 2013 Global Consortium of Entrepreneurship Centers Conference, Henry W. Bloch School of Management, University of Missouri-Kansas City, October, 24, 25, and 26

(IBA フォーラム活動など)

- ・ マーケティング研究会顧問：2013年5月29日，7月3日，8月3日，2月22日
- ・ 『致知』読書会講師：2013年9月1日（9月号），11月24日（番外編：「東邦レオ：3回目のビジネスモデルのシフト（自作ケース）」，12月1日

【玉田俊平太教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・ 『破壊的イノベーション 市場の構造変化の見極めと対処法』（共著），(株)中央経済社，2013年5月

(論文など)

- ・ 「マッサージチェア開発における価値形成プロセス」（共著），『研究技術計画』（研究・技術計画学会），Vol. 28 No. 3/4, pp. 292-302, 2014年2月

II. 研究発表など

- ・ 「多様な分野の人材を融合させることによるイノベーター教育のケーススタディ」（共同発表），研究・技術計画学会第28回年次学術大会，2013年11月2日，政策研究大学院大学
- ・ 「潜在需要開拓型イノベーションの人材育成」（共同発表），研究・技術計画学会第28回年次学術大会，2013年11月2日，政策研究大学院大学

IV. 学外活動

(講演など)

- ・ 「経営戦略研究科イノベティブデザインスクールについて」，イノベーション研究会／イノベーション研究会，2013年12月8日
- ・ 「イノベーションの経営学」，イノベーション研究会／イノベーション研究会，2014年1月26日

(学会役員，兼業，公職など)

- ・ 研究・技術計画学会理事，2012年10月～

- ・ 大学基準協会経営系専門職大学院認証評価分科会第6群委員，2013年4月～
- ・ 科学技術振興機構情報事業戦略検討委員会委員，2013年6月～
- ・ 知的財産研究所 IIP データベース運営委員会委員，2013年7月～

V. 教育研究助成金

- ・ 「デジタル時代における持続的ビジネスモデルの研究」，科学研究費補助金基盤 (C)，2011年度～2013年度，507万円
- ・ 「未来産業創造にむかうイノベーション戦略の研究」，科学技術振興機構社会技術研究開発事業，2011年11月～2014年10月，4,268万円

【山本昭二教授】

II. 研究発表など

- ・ 「独創的研究を支える学会の役割」(単独発表)，日本消費者行動研究学会，2013年6月1日，慶應義塾大学
- ・ “The Effects of Medical-Institution Website on Consumer Attitude” (Co-author)，International Conference Communication on Health，2013年9月29日～10月2日，モントリオール

IV. 学外活動

(受託・連携事業など)

- ・ ニュービジネス助成金，池田泉州銀行，目利き委員会委員，2013年7月1日～2013年11月30日
- ・ MBA エッセンス入門講座，SMBC コンサルティング，講師，2013年8月7日
- ・ インテリジェントアレー，専門セミナー，関西社会人大学院連合，マーケティングコーディネーター，講師，2013年10月10日～2013年11月21日
- ・ 大学主催セミナー，スマートコミュニティの可能性，関西学院大学，パネルディスカッション司会，2014年3月9日

(学会役員，兼業，公職など)

- ・ 日本消費者行動研究学会 会長，2013年5月～
- ・ 日本マーケティング学会 理事，2012年10月～
- ・ 日本商業学会 学会賞選考委員会 委員長，2013年10月～
- ・ 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 問題解決型サービス科学研究開発プログラム アドバイザー，2013年4月～

V. 教育研究助成金

- ・ 選好構成理論の実証のためのシステム開発とショッピングサイトへの応用，科学研究費

助成金，基盤研究B，2012年～2014年，990万円

【油谷博司教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・『グローバル下の地域金融』(分担執筆)，中央大学出版部，2014年3月，(第7章「クラウドファンディングの可能性」を執筆)

(論文など)

- ・「タイの金融システム改革の進展－資金循環からの評価－」(単著)，『商学論纂』(中央大学商学研究会)第55巻第3号，pp.157-179，2014年3月

会計専門職専攻

【稲沢克祐教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・『自治体の財政診断と財政計画－決算重視による財政マネジメント－』（単著），学陽書房，2013年11月

(論文など)

- ・「予算編成の新技术」（単著），『地方財務』（ぎょうせい）第711号，pp. 2-13，2013年9月
- ・地方自治体における行政評価の導入と活用－予算編成，総合計画の進行管理への活用－』（単著），『季刊 評価クォーターリー』（行政管理研究センター）第27号，pp. 32-47，2013年10月
- ・「自治体アウトソーシングの様相－その成果，課題，対応－」（単著），『都市問題』（後藤安田記念東京都市問題研究所）第104巻・第11号，pp. 62-70，2013年11月
- ・「閉塞状況を突破する予算編成」（単著），『ガバナンス』（ぎょうせい）第152号，pp. 31-33，2013年12月
- ・「英国の自治体における首長公選制」（翻訳），『都市とガバナンス』（日本都市センター）第20号，pp. 36-56，2013年9月
- ・「書評 今川晃著『個人の人格の尊重と行政苦情救済』，『地方自治叢書25 「新しい公共」とローカル・ガバナンス（日本地方自治学会編）』（敬文堂），pp. 199-207，2013年8月

II. 研究発表など

- ・「基礎自治体における財源減少期の予算編成－その現状と改革－」（単独発表），日本地方自治学会，2013年11月9日，新潟県立大学，（共通論題I 基調報告）

IV. 学外活動

(講演など)

- ・自治大学校における研修講師
- ・全国市町村職員国際文化研修所における研修講師
- ・日本経営協会行政本部，同協会中部本部，同協会関西本部，同協会九州本部における研修講師
- ・都道府県職員への職員研修：群馬県庁，広島県庁，岐阜県庁，兵庫県庁の職員に対する研修講師

- ・市町村職員への職員研修：広島県の市町職員，福岡県の市町村職員，大阪府の市町村職員に対する職員研修講師。および，埼玉県秩父市役所，長野県茅野市役所，岐阜県関市役所，埼玉県久喜市役所，広島県三原市役所，福岡県飯塚市役所，愛知県飛島村役場，三重県伊賀市役所，宮崎県都城市役所における職員研修講師

(学会役員，兼業，公職など)

- ・国際公会計学会常務理事，2013年8月23日～
- ・外務省 政策評価アドバイザー委員，2013年4月1日～
- ・全国知事会 地方自治先進政策センター専門委員，2013年4月1日～
- ・公益財団法人 自治体国際化協会 比較地方自治研究会コモンウェルス部会委員，2013年4月1日～
- ・全国市町村国際文化研修所 教科問題懇談会委員，2013年4月1日～
- ・公益財団法人 日本都市センター 「基礎自治体の総合的国際比較」イギリスにおける行財政制度研究会主査，2013年4月1日～
- ・川西市 経営評価委員会委員長，2013年4月1日～
- ・東大阪市 包括外部監査人補助者，2013年4月1日～
- ・篠山市 篠山再生計画推進委員，2013年4月1日～
- ・秩父市 行政経営アドバイザー，2013年4月1日～
- ・茅野市 行政アドバイザー（行政経営分野），2013年4月1日～
- ・貝塚市 行政評価推進アドバイザー，2013年4月1日～

Ⅵ. その他

(海外での活動など)

- ・EU本部 ブリュッセルに所在するイングランド，スコットランド，デンマークの地域代表機関の調査，2013年11月19日～22日

【石田昭教授】

Ⅳ. 学外活動

(講演など)

- ・「要注意！連結当期純利益と純資産の読み方」，梅田キャンパス事務室／ビジネスランチアワー，2014年3月4日

(学会役員，兼業，公職など)

- ・公益財団法人小林国際奨学財団 監事，2012年6月6日～
- ・フジッコ株式会社 社外監査役，2013年6月24日～
- ・株式会社京写 社外監査役，2012年7月1日～

【石原俊彦教授】**Ⅳ. 学外活動**

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・国際公会計学会会長, 2013年8月24日～
- ・京都府参与(業務改善担当), 2013年4月1日～

Ⅵ. その他

(海外での活動など)

- ・CIPFA Japan President, 2013年9月30日～

【加藤雄士教授】**Ⅰ. 著書・論文など**

(著書など)

- ・『株式会社簿記論』(分担執筆), 中央経済社, 2014年1月(第5章を執筆)

(論文など)

- ・「経営分析教育に関する一考察: 中小企業経営者に対する研修教育を中心として」(単著), 『ビジネス&アカウンティング レビュー』(関西学院大学経営戦略研究科)第12号, pp. 131-149, 2013年12月
- ・「コーチングとファシリテーションの活用に関する一考察—組織開発, 学習する組織などへの展開—」(単著), 『産研論集』(関西学院大学経営戦略研究科)第41号, pp. 59-73, 2014年3月

Ⅱ. 学外活動

(受託・連携事業など)

- ・産学連携 OFF-JT プログラム(高度金融人材育成プログラム) 経済産業省/高度金融人材産学協議会, 2013年10月～11月

(講演など)

- ・「経営に活かす決算書の活用法」, 中小企業大学校瀬戸校研修, 2013年5月5日～7日
- ・「経営者が知っておきたい会計知識～経営に活かす決算書の活用法～」, 中小企業大学校人吉校, 2013年6月13日～14日, 8月22日～23日, 10月17日～18日
- ・税務職員向け経営学講義, 税務大学校大阪研修所, 2012年7月24日, 26日

【中島稔哲准教授】**Ⅰ. 著書・論文など**

(著書など)

- ・『ビジネス会計検定試験公式テキスト 1 級〔2013-14年版〕』（分担執筆），中央経済社，2013年 9 月，（「繰延資産と研究開発費」と「税効果」を執筆）
 - ・『IFRS 国際会計基準の基礎〔第 3 版〕』（分担執筆），中央経済社，2013年10月，（「法人所得税」と「会計方針，会計上の見積りの変更及び誤謬」を執筆）
 - ・『株式会社簿記論』（分担執筆），中央経済社，2014年 1 月，（「決算」を執筆）
- （論文など）
- ・「税引後法に関する歴史的考察」（単著），『ビジネス&アカウンティングレビュー』第12号，pp. 1-13，2013年12月

Ⅵ. その他

- ・「税理士・会計士受験ハイパー・トレーニング PLUS・8 財務諸表論：収益認識」（単著），『会計人コース』（中央経済社）第48巻第 5 号，pp. 85-96，2013年 4 月
- ・「税理士・会計士受験ハイパー・トレーニング PLUS・9 財務諸表論：連結会計」（単著），『会計人コース』（中央経済社）第48巻第 6 号，pp. 107-118，2013年 5 月
- ・「税理士・会計士受験ハイパー・トレーニング PLUS・10財務諸表論：企業結合と事業分離」（単著），『会計人コース』（中央経済社）第48巻第 7 号，pp. 101-112，2013年 6 月
- ・「税理士・会計士受験ハイパー・トレーニング PLUS・11財務諸表論：税効果会計，外貨換算会計」（単著），『会計人コース』（中央経済社）第48巻第 8 号，pp. 109-120，2013年 7 月
- ・「税理士・会計士受験ハイパー・トレーニング PLUS・12財務諸表論：応用・総合問題」（単著），『会計人コース』（中央経済社）第48巻第10号，pp. 85-95，2013年 8 月
- ・「一般商品売買」（単著），『会計人コース〔臨時増刊〕』（中央経済社）第49巻第 2 号，pp. 27-30，pp. 97-100，2014年 1 月

【西尾宇一郎教授】

Ⅳ. 学外活動

（講演など）

- ・「決算書の読み方・分析・監査の基礎講座」，公益社団法人 日本監査役協会 関西支部，2013年 7 月29，30日

（学会役員，兼業，公職など）

- ・阪神水道企業団経営懇談会委員，2008年 8 月29日～
- ・芦屋市水道事業経営審議会委員，2013年 2 月16日～2013年10月19日
- ・尼崎市提案型事業委託制度審査会委員長，2013年10月18日～2013年10月30日

V. 教育研究助成金

- ・「地方公営企業の経営健全化を実現する会計制度のあり方に関する理論的・実務的研究」, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 2013年4月～2014年3月, 70万円

【緒方勇准教授】**II. 研究発表など**

- ・「R&D 資産価値の推定」(単独発表), 日本組織会計学会研究会, 2014年3月1日, 関西学院大学

III. 学位・表彰

- ・資産評価政策学会 論説賞, 2013年9月21日

V. 教育研究助成金

- ・「R&D の資産計上方法についての研究」, 科学研究費補助金若手研究 (B), 2013年～2014年, 416万円

【岡本智英子教授】**I. 著書・論文など**

(著書など)

- ・『民法とつながる商法総則・商行為法』(分担執筆), 商事法務, 2013年4月, (7講商業帳簿 (pp. 136～148) を執筆)
- ・『新会社法の基礎 (第2版)』(分担執筆), 法律文化社, 2013年4月, (第2章第2節株式第3節新株予約権 (pp. 34～60) を執筆)

(論文など)

- ・「株主総会否決決議の取消しと株主提案権行使に対する不当拒絶」(単著), 『法と政治』(関西学院大学) 第64巻2号, pp. 87～100, 2013年7月, (判例研究)
- ・「日本版 ESOP と新株発行」(単著), 『法と政治』(関西学院大学) 64巻4号, pp. 37～48, 2014年2月, (判例研究)

II. 研究発表など

- ・「非上場化を伴う MBO における取締役と監査役の義務」(単独発表), 2013年 IBA 会社法判例研究会第1回, 2013年6月30日, 関西学院大学
- ・「従業員持株会支援会を割当先とする第三者割当てと不公正発行」(単独発表), 2013年関西商法研究会第2回, 2013年7月17日, 関西学院大学
- ・「新株発行の効力と議決権行使禁止の仮処分命令の可否」(単独発表), 2013年第6回慶應義塾大学商法研究会, 2013年11月30日, 慶應義塾大学

- ・「行使条件に反する新株予約権行使による株式発行の効力」(単独発表), 2013年 IBA 会社法判例研究会第4回, 2014年1月12日, 関西学院大学

IV. 学外活動

(講演など)

- ・「企業法務(1) 会社法, 企業法務(2) 会社法と株主総会, (3) 会社法と会計参与」, TKC・関西学院大学新月プログラム第10期「税理士のための会計・法律講座」第3回, 2013年6月15日
- ・関西社会人大学連合インテリジェントアレー 2013年度秋期専門セミナー「自分を守るための法学入門」第1回 『法とは何かー自分の常識・世間の常識・国家の常識ー』, 2013年10月30日

【杉本徳栄教授】

I. 著書・論文など

(論文など)

- ・「IFRS アドプションから1年 韓国上場企業の導入後分析ー会計の透明性・会計信用度の向上はあったか」(単著), 『企業会計』第65巻第6号, pp. 98-106, 2013年6月
- ・「『国際会計基準(IFRS)への対応のあり方に関する当面の方針』のエッセンス」(単著), 『週刊 経営財務』第3127号, pp. 28-31, 2013年8月26日
- ・「IFRS 適用問題を巡る SEC コミッショナーの構図」(単著), 『会計』第184巻第5号, pp. 29-43, 2013年11月
- ・「『当面の方針』策定の影響要因とエンドースメントされたIFRS」(単著), 『企業会計』第66巻第1号, pp. 52-62, 2014年1月
- ・「《実態分析》IFRS 対応の現状と今後の方針ーアンケート結果を読み解くー」(単著), 『週刊 経営財務』第3150号, pp. 32-41, 2014年2月10日

II. 研究発表など

- ・“Accounting Infrastructure: Standing Position of IFRSs Adoption in Japan,” (単独発表), 2013 Annual Summer/International Conference—Korean Accounting Association: Special Session, June 21, 2013, Gyeongju, Korea
- ・自由論題報告(司会), 日本会計研究学会第72回大会, 2013年9月6日, 中部大学。
- ・「『単一の高品質でグローバルな会計基準』の存立基盤ー基準設定と会計研究ー」(単独発表), 国際会計研究学会第30回研究大会, 2013年9月15日, 中央大学, (統一論題報告)

IV. 学外活動

(講演など)

- ・「会計制度の展開① ディスクロージャー制度」, TKC・関西学院大学新月プログラム第10期「税理士のための会計・法律講座」, 2013年4月13日
- ・「会計の国際事情② アメリカの会計事情」, TKC・関西学院大学新月プログラム第10期「税理士のための会計・法律講座」, 2013年4月13日
- ・「韓国における IFRS 適用の実態および影響について」, 関西経済連合会講演, 2013年8月22日
- ・「IFRS と証券監督者国際機構 (IOSCO) - 国際的会計規制のあり方をめぐって-」, 東京大学金融教育研究センター (CARF) セミナー「IFRS と日本の会計制度 (3)」, 2013年12月19日

(学会役員, 兼業, 公職など)

- ・国際会計研究学会監事, 2011年9月～
- ・日本会計教育学会理事, 2011年9月～
- ・日本会計研究学会国際交流委員会委員, 2012年9月～
- ・会計大学院協会監事, 2012年5月～2013年5月
- ・会計大学院協会理事, 2013年5月～
- ・金融庁 公認会計士・監査審査会公認会計士試験試験委員, 2009年12月～2013年11月
- ・会計大学院評価機構評価員, 2013年

V. 教育研究助成金

- ・「国際財務報告基準に基づく財務報告の比較可能性と透明性の解明」, 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 2011年～2013年, 390万円
- ・「国際会計基準 (IFRS) の導入が及ぼす経済的効果と金融規制への影響に関する分析」, 全国銀行学術研究振興財団学術研究助成, 2013年～2014年, 55万円

VI. その他

(海外での活動など)

- ・韓国会計学会2013年夏季学術大会, 2013年6月19日～6月22日

【徳崎進教授】

II. 研究発表など

- ・「コメント・金紅花『日本企業における BSC 導入事例について - BSC の戦略策定機能を中心に - 』」(単独発表), 日本管理会計学会2013年度第1回リサーチ・セミナー, 2013年6月15日, 甲南大学, (コメンテーター)
- ・「コメント・Norlaila Md Zin, Suzana Sulaiman, and Aliza Ramli “Value creation using the balanced scorecard: Diffusion perspective”」, アジア太平洋管理会計学会 (APMAA) 2013

年度大会，2013年11月3日，名古屋大学，（司会およびコメンテーター）

- ・「コメント・Hiroshi Miyamasu “Comparative study of the transformation of corporate strategy into financial results: Amazon. com and LAOX Ltd.”」(単独発表)，アジア太平洋管理会計学会（APMAA）2013年度大会，2013年11月3日，名古屋大学，（司会およびコメンテーター）

- ・日本組織会計学会平成25年度第4回研究会（司会），2014年3月1日，関西学院大学

IV. 学外活動

（受託・連携事業など）

- ・「日本管理会計学会第1回産学共同研究グループ」，日本管理会計学会，2013年7月13日～（学会役員，兼業，公職など）

- ・日本管理会計学会関西・中部部会評議員，2007年4月1日～

- ・アジア太平洋管理会計学会（APMAA）運営委員，2012年4月1日～2014年3月31日

【上田耕治教授】

I. 著書・論文など

（著書など）

- ・『IFRS 国際会計基準の基礎第3版』（分担執筆），中央経済社，2013年10月，（「第3章 3-7 金融商品」，「第5章 5-2 収益」を執筆）
- ・『株式会社簿記論』（分担執筆），中央経済社，2014年1月，（「第10章 税金」を執筆）
- ・『ビジネス会計検定試験公式テキスト2013-14年版』（分担執筆），中央経済社，2013年9月，（「第3章第3節 固定資産と減損」，「第3章第11節 会計上の変更および誤謬の訂正」を執筆）

III. 学位・表彰

- ・博士（商学），関西学院大学，2013年7月10日

IV. 学外活動

（受託・連携事業など）

- ・インテリジェントアレー専門セミナー「ビジネスに役立つ会計を学ぶ」（ビジネス会計検定3級講座），関西社会人大学院連合／キャンパスポート大阪，2013年6月～7月（全5回）
- ・オーダーメイドセミナー（新日本コンピュータマネジメント株式会社）「ソフトウェア業の原価と原価計算」，関西社会人大学院連合／キャンパスポート大阪，2013年11月（全2回）
- ・インテリジェントアレー専門セミナー「ビジネスに役立つ会計を学ぶ」（ビジネス会計

検定3級講座), 関西社会人大学院連合/キャンパスポート大阪, 2014年1月~2月
(全5回)

【山地範明教授】

I. 著書・論文など

(著書など)

- ・『株式会社簿記論』(分担執筆), 中央経済社, 2014年1月, (第12章「本支店会計」を執筆)
- ・『ビジネス会計検定試験® 公式テキスト1級 [2013-14年版]』(分担執筆), 中央経済社, 2013年9月, (第3章第1節「金融資産」および第3章第5節「金融負債」を執筆)

(論文など)

- ・「連結基礎概念からみた我が国連結会計基準の矛盾」(単著), 『会計・監査ジャーナル』第697号, pp. 69-75, 2013年8月

II. 研究発表など

- ・自由論題報告の司会, 日本会計研究学会第72回大会, 2013年9月5日, 中部大学

IV. 学外活動

(講演など)

- ・「コンバージェンスされていない我が国の会計基準」, 兵庫県経営者協会税経委員会・経理懇話会/特別研修会, 2013年11月20日